



Iris

発行日  
令和6年4月23日

新潟市立鳥屋野小学校  
あいらす



文責 校長 本間 浩之

## 新年度の節目に当たり

「今日はとっても楽しかったです。明日また学校に早く来たいです！」下校時に、ある子どもからそう声を掛けられました。何よりもうれしい言葉でした。もっと学校を、楽しいところに、そして、だれにとっても居心地のいいところにしたいと改めて思いました。

995人でスタートした新年度。始業式では、期待に胸を膨らませる子どもたちに、当校の校章のモチーフにもなっている「竹」のお話をしました。

鳥屋野小学校の校章に描かれている竹のお話をします。

竹は、ぐんぐん空に向かって力強く伸びていきます。そして竹は、どんなに強い風が吹いても決して倒れずに、とてもしなやかです。それはなぜか、竹には「節」があるからです。この「節」が、竹を強く、しなやかにしているのですね。

この「節」は、実は私たちの学校生活にもあるのです。例えば、今日の始業式。みんなが新しい学年に進級しますね。これを「節目」といいます。みんなが強く、しなやかになるために、この「節目」を大切にしてほしいのです。そのためには、新しい学年や学期に、自分のめあてをしっかりと立ててください。それに向かって頑張ることで、ぐんぐん伸びる、しなやかな竹のように、みなさんにも強い「節」が作られていきます。今よりも、もっともっとなりたい自分になるぞ！という気持ちをもって、今日からまた頑張りましょうね。

これは、私たち学校にとっても同様です。新年度という「節目」を大切に、当校は新たなスタートを切りました。もっともっという学校になるように、この「節目」に当たり、今年度、当校では次の取組を推進します。

### ○教科担任制の導入（主に3年生以上）で、より多面的に子どものよさを引き出します

これまで小学校では、担任をする教師がほとんどの教科を教えることが一般的でした。しかし、当校では大規模校の強みを生かし、特に3年生以上で教科担任制を導入します。昨年度後期から試験的に行ってきたこのシステムを本格実施し、1人の子どもをよりたくさんの教師で見守り、支援することができるようにします。

### ○当校で目指す3つの力（資質・能力）を教科や学校行事を通じて子どもに育みます

「『～したい』を追求する力」、「認め合う力」、「自分を律する力」。昨年度の当校の子どもの実態から必要と考えたこの力を、教科指導の授業だけでなく、学校行事等をとおして育みます。また、教師も子どももこの力の育成の進捗が分かるよう、振り返りの場を設け、取組の評価や自己の成長を確認できるようにします。

職員一同、だれにとっても居心地のいい学校を目指して努めてまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様、そして日頃より大変お世話になっている学校ボランティアの皆様からのお力添えを賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。